農地所有適格法人 株式会社夕張ツムラ

2017年4月1日現在

会 社 概 要

創　業	◆ 2009年7月
事業内容	◆ 薬用作物の栽培、生薬の製造、販売、保管、技術開発
従業員数	◆ 43名　（2017年4月1日現在）
機能・位置付け	薬用作物の栽培から生薬への加工調製・選別加工までの一貫した生産拠点 ◆ 北海道生産品目の調達および生産団体の管理 ◆ 自社農場での薬用作物の大規模生産、種苗生産（夕張市、滝川市） ◆ 北海道生産品目の加工（生加工、調製加工）、選別、低温低湿保管の実施
生産品目	川芎（センキュウ）、蘇葉（ソヨウ）、当帰（トウキ）、附子（ブシ）、黄耆（オウギ）など１０品目

医療用漢方製剤の製造工程におけるタ張ツムラの役割

タ張ツムラの業務

栽培・採集 → 原料生薬 → 切　裁 → 秤量・調合

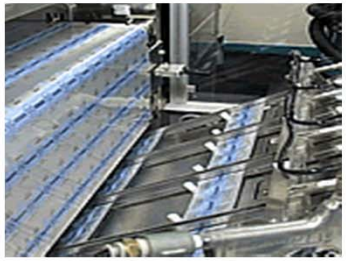
品質試験

品質試験

医療用漢方製剤の第一番目の工場

抽出・分離・濃縮 → 乾　燥 → 造　粒 → 充填・包装

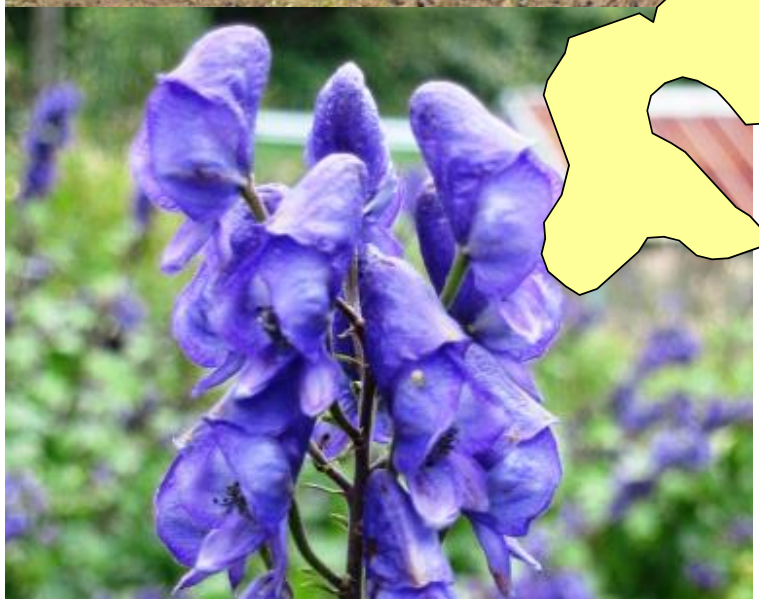
品質試験



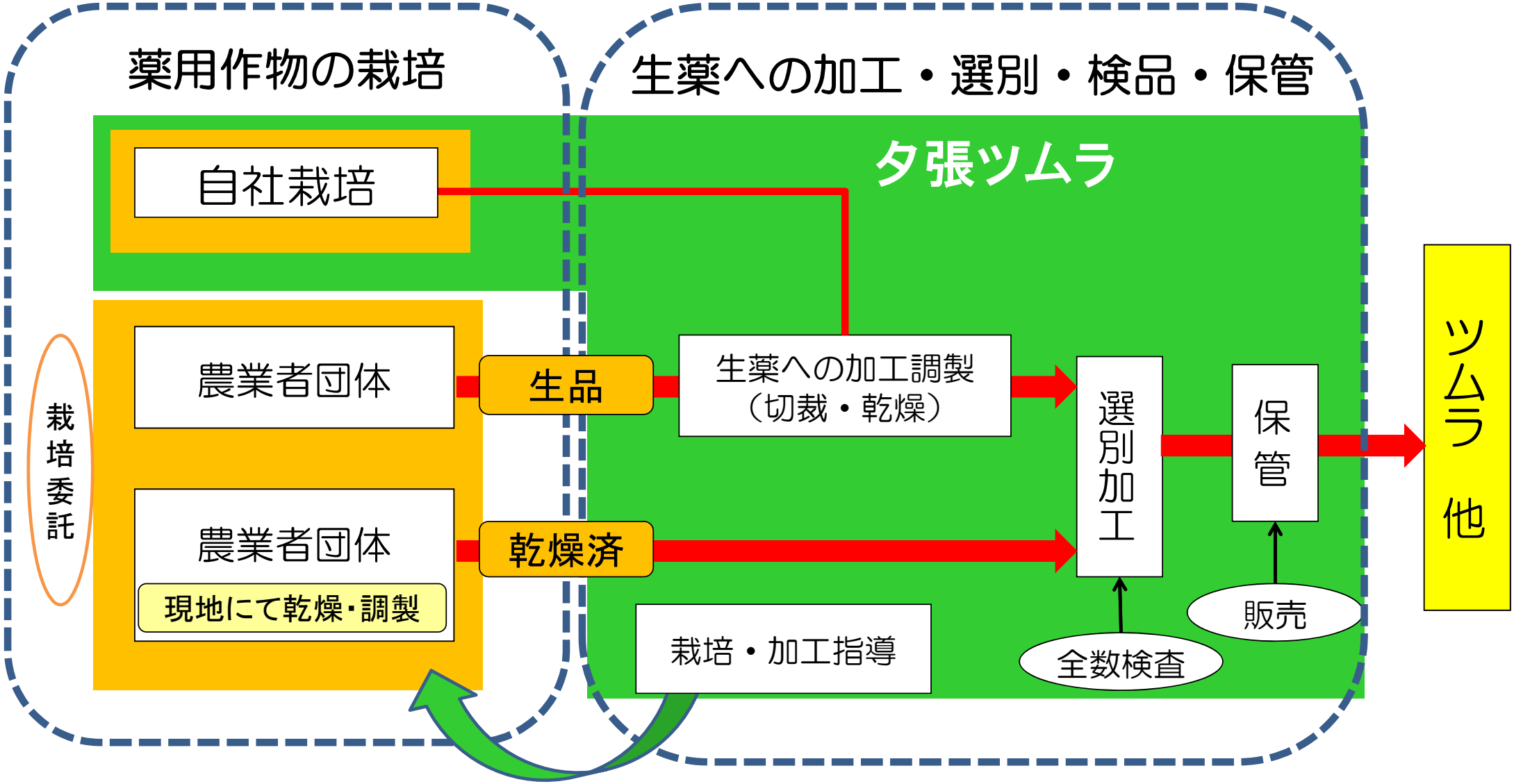
製　品

患者さまのもとへ

夕張ツムラの生産業務について



夕張ツムラの業務内容のフロー



夕張ツムラの生薬生産コンセプト

①「遊休農地・耕作放棄地の自社農場化の推進」

耕作放棄地、遊休農地の集積と大規模・機械化による効率生産を計画的に実施
（多年生の薬用作物を中心に生産展開）

②「薬用作物を活用した六次産業化の推進」

生薬加工拠点を中心とした生産団体との栽培・加工連携ネットワーク（栽培～加工）を構築

薬用作物の栽培～生薬への加工～販売までを農業生産法人で一元化

入口 → 薬用作物（農産物）の栽培 → 生薬への加工 → 生薬の販売 → ツムラ 出口

一次産業 ＋ 二次産業 ＋ 三次産業

③「社会福祉法人との「農と福祉」連携による生薬生産の推進」

障がい者や高齢者の自立・就労支援を「生薬の生産」を通じて実践

農業者団体の六次産業化による生薬生産展開の推進

JA道央「薬草生産部会」との連携による生薬生産を通じた六次産業化の推進

生産品目：附子、川芎　【 農家栽培＋JA加工】

トリカブト（附子）

配合処方：
牛車腎気丸、麻黄附子細辛湯、大防風湯
桂枝加朮附湯、八味地黄丸、真武湯

キンポウゲ科のハナトリカブトまたはオクトリカブトの塊根。アコニチンを主体とするアルカロイドを含み、猛毒性であるが減毒して用いる。利尿、強心、鎮痛作用があり、四肢関節の麻痺、疼痛、虚弱体質者の腰痛、下痢、失精など内臓諸器官の弛緩によっておこる症状の復活に用いる。

種芋植付

生育風景

収穫

種芋外し作業

乾燥（加工場外観）

農業者団体の六次産業化による生薬生産展開の推進

JA帯広かわにし薬用植物生産組合との連携による生薬生産を通じた六次産業化の推進

生産品目：川芎　　【 農家栽培＋農家加工 】

センキュウ（川芎）

配合処方：
抑肝散、当帰芍薬散、川芎茶調散、十全大補湯、防風通聖散など

セリ科のセンキュウの根茎。温性の駆オ血、補血、鎮静、鎮痛薬として、貧血症、冷え症、月経不順、月経痛などに応用する。

種芋植付

生育風景

収穫

種芋外し作業

乾燥

作りやすい環境の整備（栽培機械の開発と生産への導入）

栽培機械導入例

※数字は従来方法より圧縮された作業時間数

●蘇葉

セル育苗

苗定植

収穫

●黄耆

播種

収穫

茎切

作りやすい環境の整備（栽培機械の開発と生産への導入）

栽培機械導入例

※数字は従来方法より圧縮された作業時間数

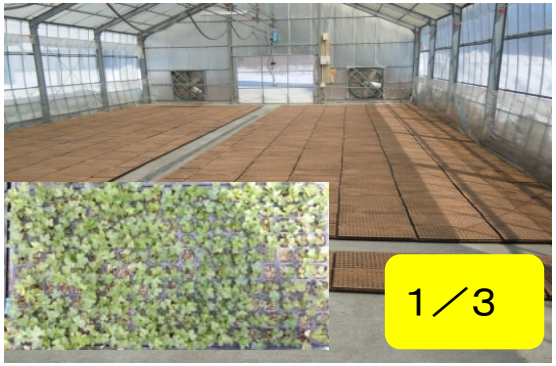
●当帰 （育苗方法2通り）

露地育苗

苗収穫

苗定植

収穫



セル育苗

苗定植

作りやすい環境の整備（農薬の登録適用拡大）

2003年～農薬取締法改正「登録された適用作物以外の農作物に農薬は使用出来ない」

登録農薬は非常に少ない

・薬効薬害試験　・倍量薬害試験　・作物残留試験　２試験地

・３試験地　（公的研究機関（道立農業試験場）1例以上）

農薬適用拡大試験における作業を自社で実施

・農薬登録の早期実現　・行政、公的機関、農薬メーカーとの連携強化

・農薬登録実績（主に除草剤を強化）

川芎　（ゴーゴーサン）　当帰　（ゴーゴーサン）　黄耆　（ロロックス）

防風　（ゴーゴーサン）　蒼朮　（ゴーゴーサン）　附子　（ゴーゴーサン）

機械化による大面積での薬用作物の栽培の推進

※写真は全て一農家の畑です。

機械化による大面積での薬用作物の栽培の推進

計画的な生産

- 夕張ツムラのネットワークにおける薬用作物生産は、生産者と市場を挟まず売買されるため、市況の作物に比べ、計画的な生産と安定した収入につながりやすく、若い生産者の参入も進んでおります。

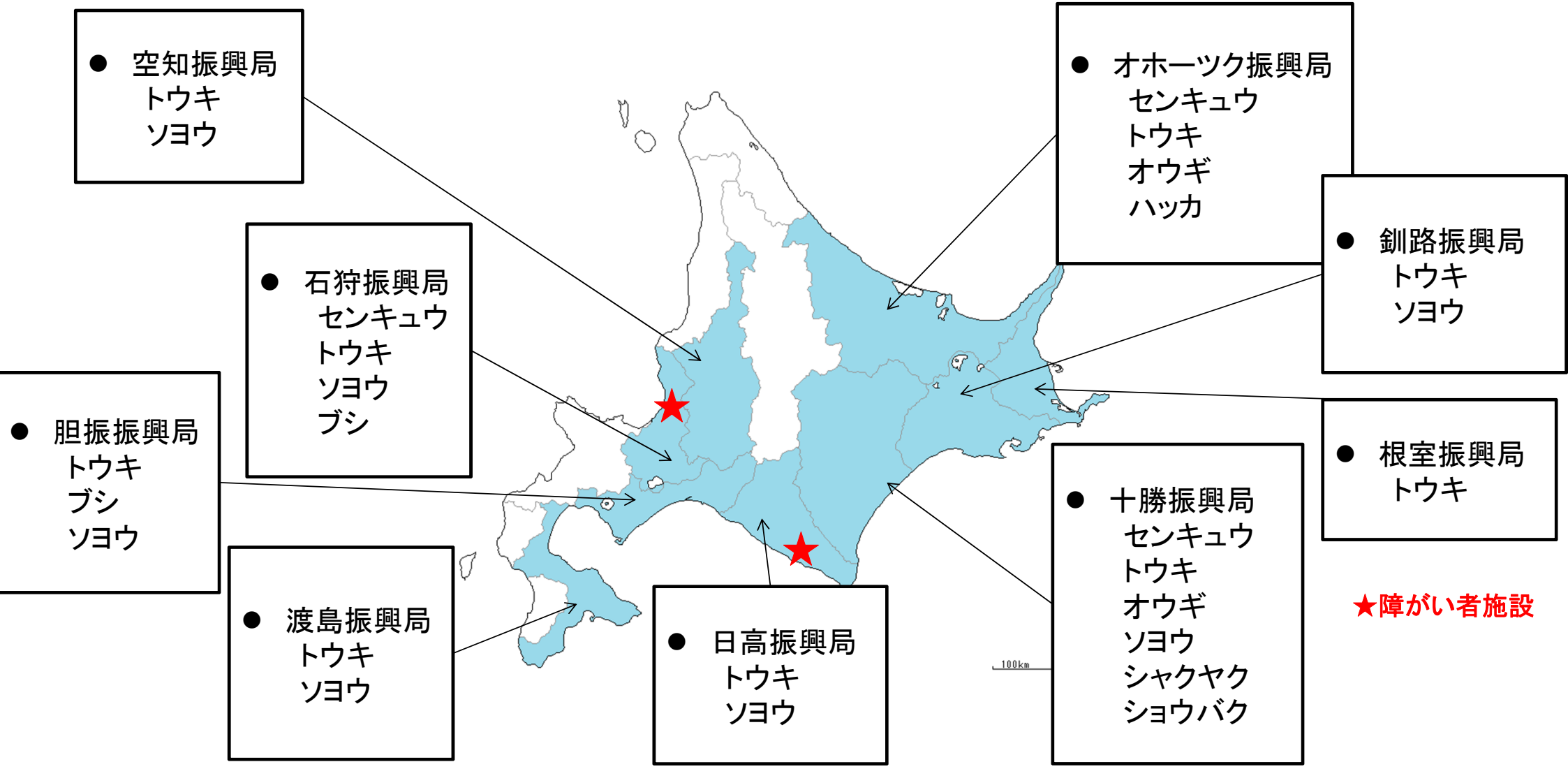
生薬加工作業

- 北海道では冬の積雪により露地の農作業ができません。こうした農閑期には除雪などのアルバイトに携わる生産者も多く存在します。薬用作物生産では秋の収穫後、生産者が乾燥や選別加工作業までを行うことで、収益向上と冬場の仕事の確保につながります。

地域と第一次産業への貢献

- 農閑期の加工作業や、福祉施設への生産委託は地域の雇用を創出します。また、若い生産者の参入によって農業地域の活性化を促します。
- 夕張ツムラは薬用作物生産の拡大を通じて、農業の発展と地域社会への貢献に取り組んで参ります。

生薬産地一覧


● 空知振興局
トウキ
ソヨウ
● オホーツク振興局
センキュウ
トウキ
オウギ
ハッカ
● 釧路振興局
トウキ
ソヨウ
● 石狩振興局
センキュウ
トウキ
ソヨウ
ブシ
● 胆振振興局
トウキ
ブシ
ソヨウ
● 根室振興局
トウキ
● 十勝振興局
センキュウ
トウキ
オウギ
ソヨウ
シャクヤク
ショウバク
● 渡島振興局
トウキ
ソヨウ
● 日高振興局
トウキ
ソヨウ
100km
★障がい者施設

社会福祉法人との連携「障がい者の皆さんと生薬を生産」

生産・加工・保管

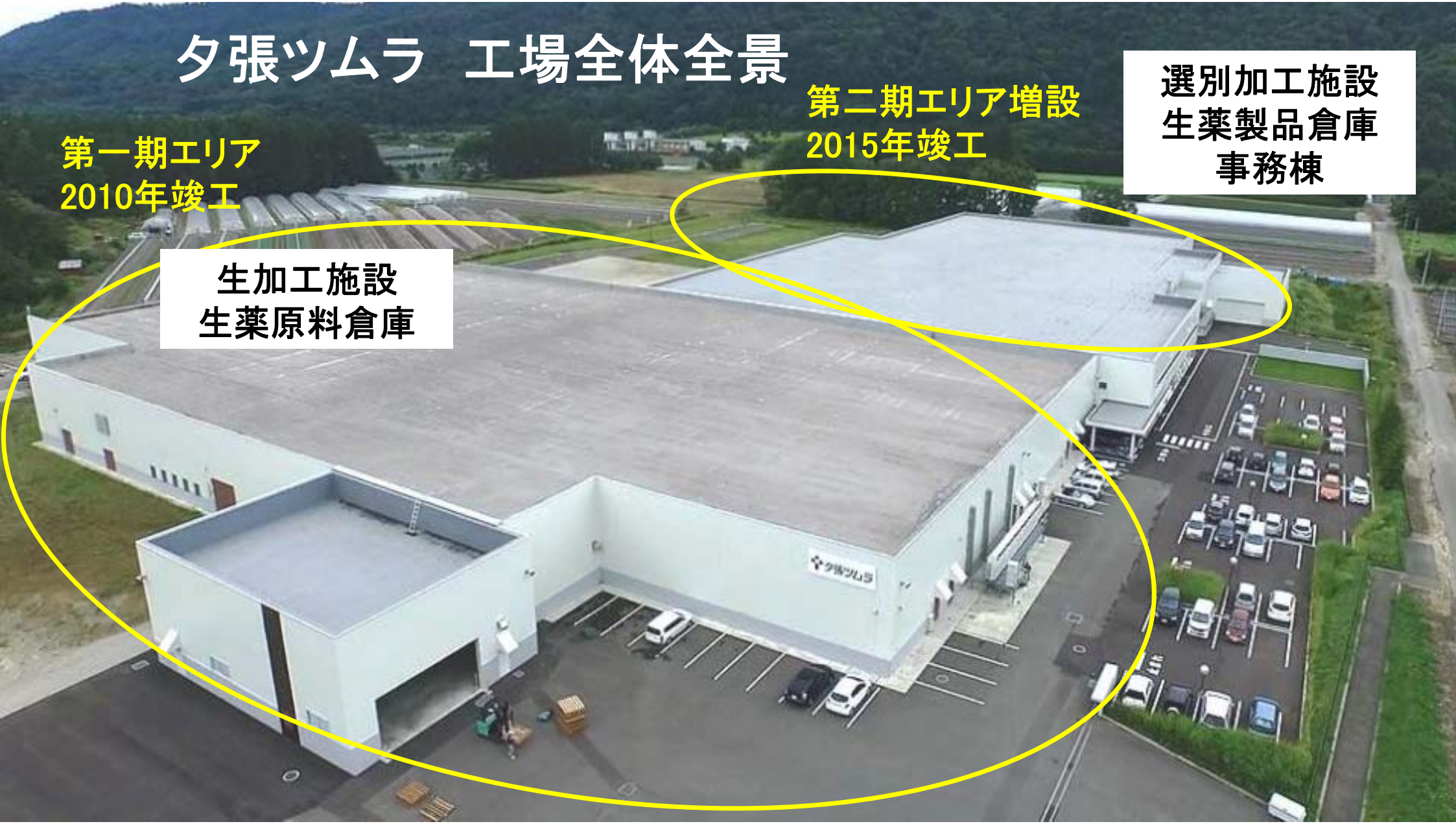
道東道夕張IC　　4km

苫小牧港　　70km

新千歳空港　　50km

※北海道の道路交通の中心地点

苫小牧港を経由し、ツムラ石岡センター（茨城県）へ出荷

北海道における生薬の集積地とするべく
夕張市に生産・加工・保管拠点を設ける

夕張ツムラ　工場全体全景